

# ナチュラルガーデンの制作

フラワーファクトリ科 園芸デザイン部 3年 大森一慶

「ナチュラルガーデン」は10年ほど前からガーデニングのトレンド（流行）となってきた。しかし、その定義は曖昧であり、ナチュラルガーデンの定義は確立していない。日本では多くのガーデナーが、自己流のナチュラルガーデンを提唱して制作・管理を行っているのが実態である。ナチュラルガーデン制作のプロを招き、オリジナリティのあるナチュラルガーデンの制作を行った。

## 外部講師の指導を受けてナチュラルガーデンの制作を行う

2018年4月・2019年1月に、外部講師（BASE BOTANY 主催 藤井俊通氏）を招聘して、ナチュラルガーデンの制作技法を学んだ。バラの原種 ロサムルガニー を使用したナチュラルガーデンの制作に挑戦した。

### ナチュラルガーデンの制作の手順 ①



① 整地



② 配置



③ 植え込み作業



④ 完成風景

制作手順であるが、① 整地を行う。植栽予定地をよく耕運して、バーク堆肥・遅効性肥料（マグアンプK）をすき込みよく混ぜる。② 完成の形を予想して植栽予定植物を配置する。配置は3角形になるようにする。③ 植え込み作業を行う。植え終わったたら花壇の表面の土が、平らになるようにする。植え終わったらバーク堆肥でマルチングを行う。

### ナチュラルガーデンの制作の手順 ②

2019年1月15・30日に、ロサムルガニー（原種バラ つる性）栽培のためのフェンス作りを行った。高さは140cm・の長さは12mで、太さ1.5mmのワイヤーを4本張ったフェンスを制作した。このフェンスを使用して、2本のロサムルガニーを誘引して栽培を開始した。3年後には、このバラがナチュラルガーデンの景観として美しく見れるようにするための管理を引き続き行う。



### ナチュラルガーデンについて

日本人の多くは、花がないと庭ではないと考える傾向にある。ナチュラルガーデンは葉（グリーン）を楽しむと言う事が重要な要素の一つになっているが、単純にグリーンを楽しむことは難しいと思う。その対策の一つとしてハーブを上手に利用すること望ましい。ハーブをグリーンとして利用し、その香りを+αとして楽しむ事で、ナチュラルガーデンの普及の可能性出てくる事が予想される。

